

日本で一番小さなキツツキ -コゲラ-

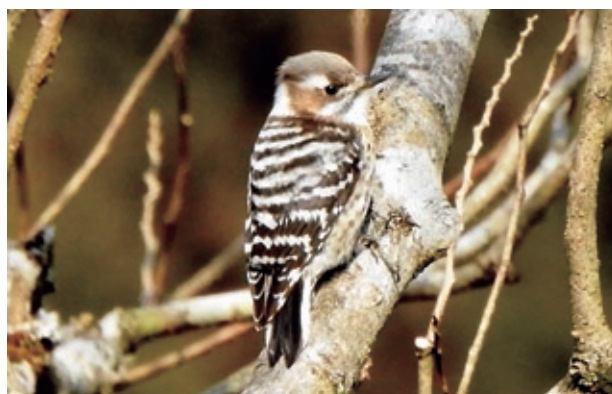
森の中で耳を澄ましていると鳥の鳴き声とは別に木を叩くような音が聞こえます。音が聞こえる方向をよく見ると木の幹をくちばしで叩いている小さなかわいい鳥を見つけることができます。キツツキ目キツツキ科の「コゲラ」です。全長15cm程の留鳥です。

背はこげ茶色に白い点模様（白点が続いて白い線に見えることも多い）がたくさんあります。オスメスはほぼ同色です。オスは耳羽あたりに赤色羽があります。風になびくなどしないと見えにくいくらい小さな羽なのでオスメスの判断は意外と難しいです。握力のある両足と尾の3点確保で垂直な木の幹を上がり下がりできます。くちばしで木を強く叩いて「トロロロロロ…」と音を出すドラミングをします。日本で観察できるキツツキの中では最も小さい種類です。

一定区域内を木から木へと一日中移動しています。単独でいることもあります。非繁殖期はシジュウカラの群れに交じって群れの後を追うようにコゲラが移動していることもよくあります。

陶史の森ではコゲラはかなりの数を観察することができます。同じキツツキ科のアオゲラ、アカゲラも数は少ないですが観察できます。

森の中でとても速くリズムカルに木を叩く音が響くのを聴くことも森の楽しみ方の一つです。



木を上がり下がりするコゲラ



3点確保ができずバランスを崩すコゲラ



ご協力ありがとうございました。
(高病原性鳥インフルエンザ予防)

2月1日(月)

昨年11月初旬から日本の各地で高病原性鳥インフルエンザが流行しています。各地で対策がとられる中、陶史の森の鳥小屋においても1月末まで対応策をとりました。

小屋周りに消石灰を散布し、鳥小屋内を消毒、清掃し、衛生管理を徹底しました。鳥小屋周りへの一般の方の立ち入りも禁止しました。

おかげをもちまして鳥たちは病気もなく元気に過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。



教室のご案内

3月

バードウォッチング (要申込 定員10名)

3月28日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。 (雨天中止)

4月

ギフチョウ観察会 (要申込 定員10名)

4月4日(日) 午前9時～11時30分

ヒツジの毛刈り (要申込 定員10名)

4月21日(水) 午前9時～11時30分

バードウォッチング (要申込 定員10名)

4月25日(日) 午前9時～11時30分

(雨天中止)

※上記行事につきましては、新型コロナウイルス予防対策のために中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。